

2019(令和元)年度

自 2019(令和元)年 4月 1日

至 2020(令和 2)年 3月31日

## 事業報告書

認定 特定非営利活動法人

北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

### 目次

I. 総会に対する社員(含理事)名簿

II. 事業報告書

1. 事業状況～概要、経過
2. 教育実践、諸活動
3. 組織及び執行体制
4. 庶務に関する事項
5. 各事業～定款項目別

III. 決算書

1. 活動決算書
2. 財産目録
3. 貸借対照表及び当期収支差額の処分

IV. 監事の意見書

V. 役員／体制(社員名簿、2020(令和2)年度事業方針・同予算)

# 2019(令和元)年度事業報告書 (2019(令和元)年4月1日～2020(令和2)年3月31日)

認定 特定非営利活動法人  
北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

## 1. 事業の状況

### 【概要】

1998年夕張プレスカールの実践を受け'03年にNPO法人認証、以降は定款・設立趣意書に掲げた教育及び各分野活動を基本に、'07年度より新たな展開＝「既存学校法人との“協同＝教育連携”を開始（共育の森学園の再建支援）しました。また'09年度より地球温暖化に対応した《エコハウス》を推進し独自集会や他団体との共同企画を継続しています。

'10年度以降は実践を基盤に、'13年度/15周年行事・認定NPO法人取得、'14年/エコハウス道新エコ大賞奨励賞、'14-15年/『雪国札幌発ECO防災教室』実施&冊子発行、'17年度は20周年イベント・WAM助成モデル事業「つきさつぷ寺子屋」を展開しました。更に、'18年度はスクール初等部拡充・WAM居場所事業継続に加え、「自由な小学校運動」を各地集会で加速させ自治体交渉に繋げてきました。[→ スクール生徒20名規模、助成事業3年目、自治体内定!] 年間推移は以下にて。

### 【第16年度の経過】

(敬称略)

令和元年(5月18日)平成30年度総会開催

- 同 3/16「卒業・修業のつどい」小2名、中4名卒業、北海学園大生参加 \*共育の森学園：高校卒業・入学
- 4月 「フロンティア245号」：法人理事・細田「世の動きと自由な小学校づくり」  
4/10：新学期、4/30：小樽水族館へ5/1：クッキング(4種のピザ)、\*(小学校)ゆきのさと通信15号  
\*WAM「子供の未来資金」採択『AIアイネクスト』“学びあい、創りあい、繋がりあい”
- 5月 農業実習：余市教育福祉村/畑借用、5/14畑起し&21杯チャトウキビ・・・ミニトマト・シシトマ・ジャガイモ・ズッキーニ等苗植え  
「フロンティア246号」：法人理事会・「新しい小学校を『市民立』で設立しよう！」
- 6月 6/18：余市農業実習、ケル農芸/園芸進行、\*学生実習：文教大/3回、\*自由な小学校、札幌集会(6/1)  
6/25-中島公園・円山動物園訪問、辺野古のドキュ映画鑑賞、泊り会 6/26・三笠博物館へ
- 7月 「フロンティア247号」：(株)和光会長「北海道の地に、人間が人間らしく心豊かに育つ本物の教育を！」  
7/16-17キャンプ in 余市教育福祉村、7/23-夏期講習+塾講習、\*(小学校)ゆきのさと通信18号
- 8月 「フロンティア248号」：法人・大塚「自由な学びで勉強嫌いを生み出さない教育を」  
8/21スクール2学期、8/27芸術の森「テオ・ヤンセン展」、\*自由な小学校：8/10,11「長沼集会」
- 9月 9/8：うたごえ祭典「合唱構成劇」鑑賞、9/28：コーラス「木いちご」コンサート  
9/11余市教育福祉村；収穫実践→10・15に調理・食事会 \*自由な小学校：認可申請書提出→不受理
- 10月 10/14 さつぽろ<子育て教育>フェスタ「シンポジウム」、実委/大塚～あそびの広場担当/大塚・滑川  
10/28-30 修学旅行；道南・松前と函館(この間初等部は特別プロジェクト)、  
「フロンティア249号」：法人・吉野「教育の民主的営み、私達の教育観～学校設立運動の意義～」
- 11月 \*自由な小学校：申請書を取り下げ、旭川(11/10)・札幌(11/30)で集会、
- 12月 「フロンティア250号」：法人・常勤理事会「『小学校』設立への新たな取り組み～」  
釧路教育大学実習12/9-13～12名による授業・クリスマス行事・泊会・食育、  
12/14：NPO理事会&望年会、12/24-冬休み、冬期講習+塾講習 \*(小学校)ゆきのさと通信22号
- 令和 2.1月 「フロンティア251号」：法人・吉野「グレタさんの時代～若者が掲げ実践する正義は未来への礎」  
\*1/9研修会～講師：自治研・河野、北大・宮崎、文教大・吉岡 1/22・3学期スタート
- 2月 「フロンティア252号」：「副代表理事・田中「〈薬よりは自己免疫力〉～明るい笑顔で過ごしましょう！」  
2/12,13 学生実習：教育大札幌、2/19：芸術の森「ミュシャ展」・スケート授業、\*年次説明会：2/8,3/7  
\*コロナ対策：2/28～3/4 休校、3/5以降は自主登校とする \*自由な小学校：2/15「札幌集会」
- 3月 「卒業・修業のつどい」3/20～10名卒業、教育大釧路学生参加。スクール春休み(～4/7)、  
WAM「AIアイネクスト」報告書、\*共育の森学園：高校卒業・入学
- 4月 「フロンティア253号」：法人役員・吉田「みなさん、卒業・修業おめでとう」(卒業・修業の集いの栗原稿)

## 2. 教育実践、諸活動

### 【分掌、運営】

- 1) 基本体制 \*別紙「カリキュラム」他

- ◎NPO 本体 常勤役員4名/吉野、大塚、鈴木、廿日岩、社員4名/北、滑川、川島、尾田
- ◎スクール 学園長：大塚～常勤/フル3名、3日2、2日2、◎子ども館 [センター長：鈴木]→卒業収束、
- ◎GAOKA 塾 責任：大塚、滑川、4月現在小中高校生3名、◎ボランティア 学生/主に寺子屋に複数(一定有償型)

## 2) カリキュラム&担当

- <学科> <総合型>
- ◎日本語：大塚、(鈴木) ◎地球に生きる科：大塚 ◎表現科、◎もの作り：北、
  - ◎数学：大塚、川島、吉野 ◎人間科：吉野+ゲスト/吉田
  - ◎社会：滑川/歴史、 ◎やってみる科：滑川他 \*初等部：鈴木+奥村・川島、他
  - ◎理科：大塚・滑川 ◎英語：大塚、鈴木 ◎体育：全員 ◎各種行事：常勤、

## 3) 学期(末)対応

- ・月次 学校：出欠案内。・期末：通知表「成長の記録」：記述A4記述3～5枚。年度：「記念作品」制作など

## 4) 付加、関連業務

- ◎IT～ホームページ管理/北他 ・環境設定、パソコン保守：(アール・ポート/寺下)、機器更新：内部W-7.XP
- ◎事務所維持(清掃、台所、外周他) ・冬季対応～暖房/ペレットストーブ、水道(冬季)、省エネ/各階、除雪)
- ◎助成 1)札幌市：付加スタッフ・体験メニュー、2)ポートホト：( )、3)募金会：普及、4)WAM：居場所/子ども・父母

## [普及、協同]

### 1) 普及活動

- ◎普及全般 年次パンフ：「スクール」版2種、「NPO」版+「GAOKA」チラシ～団体新聞折込・集会配布、伊ノ3店舗・エール・チア
- ◎相談会等 「月次」企画：ホームページ、建物掲示板など、チラシ～上記同様
- ◎イベント ◆道民教：[札幌集会～6月学習会となり個別対応]、(→不登校分科会・合研・親の会・ )
- <外部> ◆さっぽろ子育て教育フェスタ：毎年10月、実行委員/大塚+滑川他、展示・分科会運営→「報告集」
- ◆社会教育フォーラム：[ (北大社会教育研究室) \*ここから韓国/ム学校接点]
- ◎通信発行 No.245-253号～年次9回、会員400名弱+エール・チア等配架、郵送/郵便局契約(10月値上)+手渡し

### 2) 大学、教育機関連携

- ◎実習受入れ ・教育大釧路校/授業開発研究室：従来年4回+卒業立会 ⇒年1回12月。
- ・文教大人間科学部：吉岡教官同伴で3年生10名以上 ⇒3グループで半日実習。
- ・教育大札幌校/社会科研究室：池田教官同伴で2年生6名、2-3月授業実習。
- ・個別：学園大の社会教育：内田教官の授業管轄学生複数名、居場所「寺子屋」の土曜日参加。
- ◎共育の森学園 Y：理事～継続中。高校生生徒確保急減！対策「地域再生、教育連携」・旧短大施設：活用可能性、

### 3) 他団体 [都度調整]

- 余市教育福祉村：農場利用・Y顧問～今後体制に対応して・ \*「教育による地域活性の可能性」
- 地域自治体問題研究所：(河野理事長、小田副理事長、Y理事)、\*教育テーマでの講座・分科会の企画
- NEPA 新エネルギー普及促進協会：(山形理事長、椎谷・谷井)「冊子」協力・集会共同など、\*NERC コンサル：Y相談役、

## [特記/再掲]【「エコハウス」の取り組み】 [再掲]

- 2010：北海道「グリーン・ビズ」事業所認定、'12：札幌市環境賞「優秀賞」受賞、郵便事業「建物改築=外壁修理」
- '14：北海道新聞エコ大賞「奨励賞」受賞、\*【道環境教育学会～経由】月刊「工業教育3月号」寄稿
- '14-15：さっぽろ発「ECO エネルギーで防災教室」11.2月2回実施、北大・天使大の教官協力
- ◆2011.3/11 原発事故以後、自然エネルギー導入が大事な社会テーマ。加えて脱原発は環境保全&地域再生の21世紀的課題。
- ・視点① 北海道の条件～一次産業・地域振興と結合したプロティアへ ==> 自由が丘；都会での“先進基地”
- ・↓ ② 泊・大間原発～活断層・ブルーム・温排水・廃棄物蓄積など ==> 停止、廃棄への可能な接点・連携
- ◆自由が丘センターの現状 注：自家発電はまず建物で使う → 余剰分は売電(→北電、通常はコプ電力に切替)
- ・【ソーラーパネル】 ——> 小さいけれど市民発電所、電気約50-60%削減+省エネ/生徒パネ。ローン14年完済
- ・【ペレットストーブ】 ——> 冬季暖房を化石燃料で環境負荷を低減中、バイオマス資源の地産地消推進
- \*トータルでCO2約▲7.0%、引き続き環境教育や地域開放=サテライト促進。～HP、市民講座、研究機関連携
- \*【照明LED化】 ——> 蛍光管約90%LED=従来機器寿命・省エネ⇒電気代△80%・15年保証・×虫・×破損
- ◆収支 09-10年：寄金等72万(+借入百万)、はまなす財団30万、11年：個別(秀岳荘、酒井・田中・廿日岩・小野さん)
- LED分：96万→54万、頭金10万-販促8万、ローン5年；9,100円。 \*電気代1万→「7.8千」円位。
- ◆今後、将来展望 \*温暖化対策を民間教育現場から担う、発信センターへ \*夕張の土地/転用可能性

- ・100%自然エネルギーの施設 ⇒ 追加的ソーラーパネル導入、雨水利用、(屋上)緑化、省エネ・
- ・暖房・発電の市民ファンド展開 ⇒ 市民からの基金蓄積→導入施設募集/教育文化団体→融資/回収

### 3. 組織及び運営・執行について

#### 【概要】

市民活動事業は、基本となる教育実践/普及・エコハウス推進、小樽の学校法人再建支援等により、自由が丘理念の具現化に努めてきました。通常は月寒スクールを基盤に、「子ども達が学び・成長する主体」の学び舎・運営を持続しながら、週末型の地域居場所＝寺子屋・実家も継続展開しました。(～初等部コース充実。居場所は各 30-50 回開催)

更に普及活動では、通信・HP 発信、各種教育集会の役割分担に加えて、自由が丘の“創立時精神”再度掲げた『新たな小学校設立』を各地集会・自治体協定・認可申請(～取下げ・先送り)まで進めました。組織面では13年『認定 NPO 法人』認可を更新継続、又助成事業による学び舎整備も継続中です。(～寄付特典/還付で財務プラス反映という展開は途上)

#### (1) 会員の推移

1) 正会員：会費を、個人 5,000 円・団体 50,000 円納入。 役員 11(前年 11)、社員 7(〃 7)、下記は納入者。

①役員：11名(監事含、過年納入含) ②社員：7名(20年度+1) ③法人：7団体/ 継続7団体

和光(2回)、秀岳荘(2回)、岡本建設(2回)、知床第一ホテル、幌村建設、佐々木総業、りんゆう観光、小計 25名・社

2) 賛助会員：会費を、個人 3,000 円・法人(30,000 円)納入 \*～前年は 2)・212名、3)・29名。①～⑤計 236名。

④個人：⑤大口/赤塚、河原、弁護士事務所他、(株)新倉屋/2万、小計 186名・社、①-⑤合計：211名・社(前年 236)

3) 寄金⑥ 会費 3,000 円に加算して納入：納入額+2000～7,000 円以上なども相当数 小計：(50)名

\*現状は 2)扱い、希望により 1)の②へ転換。 ——> 財政「収支決算書」参照。尚 H31 年度は 4/未現在～「36」名。

#### (2) 会員の構成、拡充

1) 正会員 ・役員社員～元発起人、会員有志、理事紹介、スクールスタッフ等。

2) 賛助 〃 ・通信購読～スクール父母、教育関係者等(寺子屋・実家関係者)。\*他方、逝去や「高齢者」区切り申し出・

#### (3) 執行体制

◎役員(敬称略) ・代表理事 2名、理事 9→9名、監事 2→2名、内訳：代表/吉野・大塚、副代表/田中(非常勤)、  
・執行部：代表理事、分掌理事、常勤スタッフ、 : 監事/吉田・廿日岩、

◎基幹会議 ・勤務員会議：事務局メンバー週次 (常勤) スタッフ会議；月・金曜 月次スタッフ会議/月末  
・その他会議：学期区切り研修付加。ボランティア＝サポートスタッフとの情報共有。

### 4. 庶務に関する事項

#### 1) 監督官庁等への申請など

・令和元年 5月、総会承認事項、所管/札幌市 (+登記手続きはなし)。役員改選/全員「再任」で提出

2) 第1回理事会：令和元年 5月18日開催(総会時)【出席】7+2名、+(委任1)スタッフ/社員同席

3) 第2回理事会：令和2年12月14日開催(研修兼)【出席】8+2名、+( ↓ 2)スタッフ/社員同席

### 5. 各事業：定款活動分野による記載：下線/波線が骨子。

第1/子ども・青年の教育機会提供・支援、第2/各種研修企画、第3/教育相談、第4/協同交流、第5/広報・出版活動。

#### 1) 学習活動への援助：各スクールの授業・行事の企画提案、運営、参加。

・スタッフ支援；教科担当など約 3～5名分をサポート。他に団体や集会講師対応等

・学生受入れ：釧路教育大総合実習～12月(通算 103回-)、他大学等/北大・学園大・文教大・教育大札幌。

#### 2) 教育推進者支援：スタッフと役員など支援者・推進者向け研修。

・役員、スタッフ研修会開催；学期毎、(独自企画、外部企画参加) ・理事会併催；新しい小学校運動/細田

・(一般向け) 教育研修開催；教師塾～教育大/年1回、寺子屋研修会/年1-2回、大学生・若手スタッフ対象

#### 3) 教育相談：月次案内、個別相談受け入れ。専門家連携。

・学期毎の案内、年次説明会開催；2.3月。月次相談会；各2回+体験会、個別；電話等の相談対応。

・案内、受付；月次/ホームページ、チラシ配布/公共施設他、建物掲示板 \*進路指導～高校情報(+見学引率等)

#### 4) 協同交流活動：他団体集会の事務局対応・分科会参加(+独自企画)。

・民間教育集会の運営分担・レポート；札幌子育てフェス/実行委員(事務局)、月寒九条の会/世話人、つきさつぷP.ルハニ

・民間組織連携；NPO 余市教育福祉村/農業・自然、道地域自治体問題研究所/教育・地域、共育の森学園/教育・NW

#### 5) 研究・講座等：(研究所包括テーマ)

・実践記録を通信等に紹介；教育大授業レポート、教育エッセ、発達支援報告、・独自企画：自然エネルギー普及「エコハウス」

・ブックレット：北海道発教育提言 No.1～11+「ECO 防災教室」。報告書：居場所 3年分 \*通信「巻頭言等」=普及用「検討

#### 6) 広報・他：

・「通信」定期発行：年次 9-10回、活動支援グッズ=物販、 ・ホームページ更新：新スタイル発信/生徒実践ページ

・独自チラシ、パンフ等：年次作成、エリア配布/地域団体折込み、エブリザン=市民活動センター/常設。\*公的助成/市他

## 財産目録

2019(平成31-令和元)年度特定非営利活動に係わる事業会計財産目録

2020(令和2)年3月31日

認定 特定非営利活動法人  
北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会  
単位:円

科目・摘要	決算額		備考
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	52,582		
預金	2,516,016		北洋銀行 1,868,915、労金
流動資産計		2,568,598	1,093、郵貯銀行 646,008
2 固定資産			
備品等償却資産		255,000	
固定資産計		255,000	
資産合計			2,823,598
II 負債の部			
1 流動負債			
繰越収支差額			
前受金	1,116,000		
短期借入金	520,000		
出資信託金	890,000		
預り金	2,661		
流動負債計			2,528,661
2 固定負債			
固定負債計			
負債合計			2,528,661
差引正味財産			294,937

## 貸借対照表

2019(平成31-令和元)年度特定非営利活動に係わる事業会計財産目録

2020(令和2)年3月31日

認定 特定非営利活動法人  
北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

単位:円

科目・摘要	決算額			備考
I 資産の部				
1 流動資産				
現金	52,582			
預金	2,516,016			北洋銀行 1,868,915、労金
流動資産計		2,568,598		1,093、郵貯銀行 646,008
2 固定資産				
備品等		255,000		ソーラーパネル
固定資産計		255,000		
資産合計			2,823,598	
II 負債の部				
1 流動負債				
前受金	1,116,000			
短期借入金	520,000			
出資信託金	890,000			
預り金	2,661			
流動負債計			2,528,661	
2 固定負債				
固定負債計				
負債合計			2,528,661	
			(294,937)	
III 正味財産の部				
前期繰越正味財産	195,833			
当期正味財産増加額	99,104			
正味財産合計			294,937	

注:短期借入は繰越しとなった。(他方、事務所代は4-11月分、12-3月分研究所負担。前年は通年処理)

### 3. 当期収支差額の処分

当期収支差額 294,937円は、次期繰越とする。